

NO! リニア

No. 138

2022年5月12日

JR東海労働組合

JR東海労HP
にアクセス



リニア建設工事の遅れは、本当に静岡県が原因か？ 実は各地で工事が遅れている！②

本紙No.136で、リニア建設工事は静岡県以外でも遅れてることをお知らせしました。今回は、神奈川、長野県に引き続き、岐阜県と愛知県についてお知らせします。

岐阜県中津川市（主なもの）

◆瀬戸非常口

2020年7月、ヤードの路盤整備中に巨岩の出現で工事が難航。

2021年6月、斜抗を掘削開始するがすでに1年強の工事遅れ発生。

2021年10月、斜抗の崩落で死傷事故が発生。工事が中断し半年遅れで再開。

◆山口非常口

2019年4月、斜坑崩落。11月に軟弱地盤対策として先進坑を掘削することで工事再開。

愛知県（主なもの）

◆名城非常口

・2018年12月、地下水が出水して水没。約1年工事中断。

・掘削工 約1年8ヶ月の遅れ

・建築工 3年以上の遅れ

・シールドトンネル 未着工。

◆坂下非常口工区 2年半以上の遅れ

非常口は完成したが、トンネルは未掘削。

以上が各地における工事の遅れです。今すぐ着工しても、2027年開業が間に合わない工区もあります。静岡県のみが建設の足を引っ張っているというのは誤魔化しです。誰かの責任になすり付けるとするのは、JR東海の体質そのものです。